

会議録

会議の名称	西東京市立中学校特別支援学級通学区域検討懇談会第1回会議
開催日時	令和2年7月28日(火) 午前10時00分から午前11時00分まで
開催場所	田無第二庁舎4階 第2会議室
出席者	<p><委員>土井美津恵、吉田奈津美、関 絵里、高橋詩子、濱崎早都子、宮川かおる、今泉奈美、矢島路代、青木千帆、松本朋香、高城文子、竹内裕美、栗原 愛、安井まゆ美、小林 宏、水野伸一郎、三澤亘潤、井上 淳、山本一幸(代理:久山洋介)、遠藤 淳、井上雅子、古家新一(順不同、敬称略)</p> <p><事務局>根岸伸太郎(学務課学務係長)、山本淳貴(学務課学務係主事)、児島彩香(学務課学務係主事)</p>
傍聴者	0人
議題	1 開会 2 学務課長挨拶 3 委員の任命及び依頼 4 座長の指名(副座長の指名) 5 自己紹介 6 会議の運営について 7 通学区域の現状等について 8 その他 9 閉会
会議資料の名称	資料1 西東京市立中学校特別支援学級通学区域検討懇談会設置要綱 資料2 西東京市立中学校特別支援学級通学区域検討懇談会傍聴要領 資料3 特別支援学級通学区域検討懇談会検討内容(概要) 資料4 西東京市立小・中学校通学区域一覧(特別支援学級) 資料5 学級編制及び特別支援学級(固定級)の児童生徒数について 資料6 特別支援学級通学区域の検討に係るアンケート調査について(案) 資料7 今後のスケジュールについて(予定)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><○発言者：発言内容></p> <p>開会</p> <p>議題2 学務課長挨拶(学務係長が代理)</p> <p>議題3 委員の任命及び依頼 保護者に対して委員の就任を依頼し、学校長に対して委員の就任を任命した。</p> <p>議題4 座長の指名(副座長の指名) 井上雅子委員(ひばりが丘中学校長)を座長として就任。井上座長が、水野伸一郎委員(中原小学校長)を副座長に指名した。</p> <p>議題5 自己紹介 各委員の自己紹介。</p> <p>議題6 会議の運営について 会議録は、委員の名前を伏せた上で、発言者の発言内容ごとの要点記録とし、傍聴の</p>	

取扱いは資料2のとおりとする。

議題7 通学区域の現状等について

○事務局：資料3から資料6に基づき説明。

○座長：資料について質問・意見がある方は発言願いたい。

○委員：町丁別に通学区域を分けるのではなく、通学距離や友人関係等の地域の実態に即した形で通学区域の設定や指定校変更制度の運用を行っていただきたい。

○委員：通常学級在籍者と比較し、特別支援学級在籍者は、通学に係る距離及び時間が長い傾向にあるため、普段の通学や震災などの緊急時に保護者として心配が大きい。

○事務局：各学校の児童生徒数や学級数の推計等も考慮しながら通学区域の設定を行っていききたい。

○委員：アンケートは誰を対象としているのか。

○事務局：市内特別支援学級在籍者の保護者全員を対象としている。

○委員：令和4年度に中学校2年生又は3年生となる生徒が、ひばりが丘中学校へ転学希望できる条件は、通学区域がひばりが丘中学校に変更された住所地のみの生徒が対象なのか。

○事務局：通学区域がひばりが丘中学校に変更された住所地の生徒のみを想定している。

○委員：現状の通学区域では、中学校への通学時間が小学校の時より30分以上長くなる地域がある。また、進学先中学校が3校に分かれている小学校があり、友人関係等が分断されてしまうケースがある。

○委員：通学区域の分かりやすさの視点を重視することで、通学距離が遠くなってしまいう地域があるのではないか。

○委員：特別支援学級においても、地域の実情に即して学校を希望できるよう、学校選択制度の導入や指定校変更制度の拡充を進めてほしい。

○座長：これまでの西東京市における通学区域の見直しの際にも、学校規模の視点や通学距離の視点など様々な観点からの検討が求められてきた。本懇談会においても、今後の児童生徒数の推計による学校規模や委員の皆様からのご意見等を考慮しながら通学区域の見直しを進めていきたい。

議題8 その他

事務局：資料7に基づき、今後の予定について説明。

閉会